

学校教育目標

自ら輝け 夢をつかめ

<笑顔・感動 はつらつ植水>

学校だより

瑞穂



令和2年度12月号

令和2年12月1日

さいたま市立植水中学校

どこを探せばいいの？

校長 茂木 里仁

時のたつのは早いもので、もう師走の声を聞くところとなりました。日に日に寒さも増し、制服の下にセーターを重ね着する生徒の姿が目立つようになってきました。新型コロナウイルスも新聞報道等にあるように、日に日に身近に迫って感染者が増えてきている状況があります。学校では、感染拡大防止に向け、手洗い消毒、三密を避けた授業等、一層気を引き締めてまいります。今後ともご家庭での検温等のご協力をお願いいたします。



11月は、2日にコロナ対策で、保護者、地域の方々の参観の無い中、合唱コンクールを実施しました。約1か月間の練習の成果を発揮し、どのクラスも素晴らしい歌声を披露してくれました。力を十分に発揮し、歌い終わった後に満足的笑みや感動の涙を流している生徒もいました。私も感動しました。また、18日には、一昨年度から取り組んでまいりました進路指導・キャリア教育研究発表会を教育委員会の指導主事4名を招聘して実施しました。教科を好きにする取組、問題発見・解決型の学習(PBL)の取組、多様な意見や学び合いを引き出すコミュニケーション力の取組等、それぞれの取組を取り入れた先生方の授業で、ICT(コンピュータ)を活用し、楽しくわかりやすい授業を展開し、指導主事の先生方から多くのお褒めの言葉をいただきました。本校の先生方の素晴らしさと教育力の高さが認められ、大きな成長と成果の見られた研究発表会となりました。

さて、こんなお話があります。みんなで考えてみてください。

ある人が、道路の曲がり角の明るい電灯の下で何か物を探していました。通りかかった人が、どうしたのかと声をかけました。その人は、大事なカギをなくしてしまって今探しているのだと答えました。気の毒に思い、一緒に探してあげることにしました。明るい電灯の下です、すぐ見つかるだろうと思っていたのですが、いくら探してもありません。どこで落としたんですかと聞いてみました。するとその人は、ずっと遠くの真っ暗な場所を指さして、あそこら辺で落としたと言うのです。あきれてしまってどうして落としたところを探さないのですかと聞きました。その人は、あそこは暗いから見つからないよ。だから明るいところを探しているんだ。と答えました。

このお話をどう思いますか？みんなだったらどうするかな。きっと懐中電灯をもって来るなど見つかるようにいろいろ考えるでしょうね。落としたところを探すことが大事なことです。もとになること、基本になることをしっかり見極めることが大切です。勉強や運動にしても、基本になることが大切です。今生徒のみなさんはこれからの生活の基本になる勉強や運動をしています。お話のように笑い話にならないよう、今一生懸命にやらなければならないことは何かをよく考え、全力をあげて取り組むようにしましょう。